

令和4年度

とまち広域消防事務組合  
一般会計歳入歳出決算審査意見書

とまち広域消防事務組合監査委員



十消監査第 18 号  
令和 5 年 10 月 25 日

とちぎ広域消防事務組合  
組合長 米 沢 則 寿 様

とちぎ広域消防事務組合  
監査委員 川 端 洋 之  
監査委員 梶 澤 幸 治

令和 4 年度とちぎ広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和 4 年度とちぎ広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算及び決算附属書類について審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

# 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	決算収支の概要	2
2	予算の執行状況	2
(1)	歳入歳出決算の状況	2
ア	歳入	2
イ	歳出	3
ウ	消防費の決算状況	4
エ	消防施設費の決算状況	5
(2)	前年度対比増減の状況	6
ア	歳入	6
イ	歳出	6
(3)	性質別歳出の状況	7
(4)	分担金の状況	8
3	債務負担行為及び組合債の状況	8
(1)	債務負担行為債務残高の状況	8
(2)	組合債残高の状況	9
4	財産の状況	10
5	意見	10
<b>(参考資料)</b>		
1	分担金分賦状況調	12
2	火災等出動件数・救急出動・消防指令の状況	13

## 令和4年度とまち広域消防事務組合一般会計決算審査意見

### 第1 審査の対象

令和4年度とまち広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

令和5年9月1日から令和5年10月24日まで

### 第3 審査の方法

決算審査に当たっては、とまち広域消防事務組合監査基準に準拠し、一般会計歳入歳出決算書（以下「決算書」という。）並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書（以下「決算附属書類」という。）について、計数は正確か、予算執行及び財務処理は適正か、財政運営は健全か等に主眼をおいて審査を行った。

### 第4 審査の結果

令和4年度とまち広域消防事務組合決算書並びに決算附属書類は、関係法令に準拠して調製され、表示された計数は関係帳簿等と照合等の結果、適正であると認められた。

また、予算の執行については、別に実施した定期監査等において既に報告のとおり、全体を通して適正に執行されているものと認められた。

現金預金については、地方自治法第235条の2第1項の規定による例月出納検査において報告のとおり、その残高を確認した。

決算の概要及び意見については、次のとおりである。

#### (注釈)

文中に用いる金額は、原則として各計数値ごとに千円単位（千円未満は四捨五入）で表示した。ただし、表中では円単位で表示した。このため、総数とその内訳の合計等が符合しない場合がある。

また、表中の比率は、原則として小数点第1位で表示（単位未満は四捨五入）し、「0.0」と表示したものは、該当値はあるが単位未満のもの、「-」と表示したものは、該当値がないものである。

## 1 決算収支の概要

令和4年度における一般会計の決算額は、歳入7,217,249千円に対し、歳出は6,782,428千円で、形式収支は434,821千円の黒字であり、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源71,991千円を差し引いた実質収支においても362,830千円の黒字となった。

第1表 決算収支の状況

(単位:円)

歳入 A	歳出 B	形式収支 C = A - B	翌年度繰越財源 D	実質収支 C - D
7,217,248,576	6,782,427,805	434,820,771	71,990,410	362,830,361

## 2 予算の執行状況

### (1) 歳入歳出決算の状況

#### ア 歳入

歳入の決算状況は、予算現額7,177,064千円に対し、収入済額は、7,217,249千円で、執行率は100.6%となり、40,185千円増加した。

また、不納欠損額及び収入未済額は生じなかった。

第2表 歳入科目別決算の状況

(単位:円・%)

科目	区分	予算現額 A	収入済額 B	増△減額 B - A	執行率 B / A × 100
分担金及び負担金		6,814,988,000	6,814,988,000	0	100.0
使用料及び手数料		2,121,000	5,216,600	3,095,600	246.0
繰越金		226,649,856	371,270,710	144,620,854	163.8
諸収入		38,605,000	25,773,266	△ 12,831,734	66.8
組合債		94,700,000	0	△ 94,700,000	0.0
合計		7,177,063,856	7,217,248,576	40,184,720	100.6

第3表 予算対比増減の状況(歳入)

(単位:円)

科目 (款及び目)	予算額 A	決算額 B	増△減額 B - A	主な増△減理由
繰越金 繰越金	226,649,856	371,270,710	144,620,854	前年度繰越金の増
諸収入 雑入	38,575,000	25,762,763	△ 12,812,237	退職手当清算負担金の確定による減

(注) 表中には、予算額に対して500万円以上の増減が生じた科目を記載している。

イ 歳出

歳出の決算状況は、予算現額 7,177,064 千円に対し、支出済額は、6,782,428 千円で、予算現額に対する執行率は 94.5%となり、227,946 千円の不用額が生じた。

なお、繰越明許費により、166,690 千円を翌年度へ繰り越した。

第4表 歳出科目別決算の状況

(単位:円・%)

科目	区分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
		A	B	B/A×100	C	A-B-C
議会費		934,000	933,783	100.0	0	217
総務費		21,593,000	19,161,970	88.7	0	2,431,030
消防費		619,283,856	566,372,361	91.5	4,468,410	48,443,085
消防施設費		727,761,000	562,095,827	77.2	162,222,000	3,443,173
公債費		150,013,000	149,800,839	99.9	0	212,161
職員費		5,655,479,000	5,484,063,025	97.0	0	171,415,975
予備費		2,000,000	0	0.0	0	2,000,000
合計		7,177,063,856	6,782,427,805	94.5	166,690,410	227,945,641

<翌年度繰越額>

(単位:円)

科目		翌年度繰越額		
款	目	継続費 逓次繰越	繰越明許費	事故繰越し
消防費	帯広消防署費	0	4,188,800	0
消防費	広尾消防署費	0	279,610	0
消防施設費	帯広消防施設費	0	99,082,000	0
消防施設費	広尾消防施設費	0	63,140,000	0

第5表 予算対比増減の状況(歳出)

(単位:円)

科目 (款及び目)	予算額 A	決算額 B	増△減額 B-A	主な増△減理由
消防費 足寄消防署費	22,467,000	17,440,004	△ 5,026,996	新型コロナウイルス感染症対策に伴う旅費及び負担金の減
職員費 職員給与費	5,655,479,000	5,484,063,025	△ 171,415,975	職員構成の変動等による減

(注) 表中には、予算額に対して500万円以上の増減が生じた科目を記載している。

ウ 消防費の決算状況

決算額は、566,372千円で、前年度と比較して1,470千円、0.3%減少した。

予算執行の主な内容は、帯広消防署費111,339千円及び指令センター費100,604千円である。

予算執行の内容を節別に見ると、主なものは、需用費291,494千円、委託料131,002千円及び役務費71,036千円である。

また、予算現額に対する執行率は91.5%で、48,443千円の不用額が生じた。

第6表 消防費の決算状況（目別）

（単位：円・%）

科 目	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A× 100	翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 増△減 B-D
消防局費	22,790,000	20,342,697	89.3	0	2,447,303	15,412,714	4,929,983
指令センター費	101,397,000	100,604,410	99.2	0	792,590	109,605,890	△ 9,001,480
帯広消防署費	118,776,856	111,339,247	93.7	4,188,800	3,248,809	111,129,025	210,222
音更消防署費	45,613,000	42,922,757	94.1	0	2,690,243	37,197,996	5,724,761
士幌消防署費	17,528,000	14,872,813	84.9	0	2,655,187	14,610,968	261,845
上士幌消防署費	21,596,000	18,680,937	86.5	0	2,915,063	19,769,962	△ 1,089,025
鹿追消防署費	13,944,000	13,455,799	96.5	0	488,201	10,695,948	2,759,851
新得消防署費	16,073,000	14,634,566	91.1	0	1,438,434	15,273,608	△ 639,042
清水消防署費	27,662,000	24,079,634	87.0	0	3,582,366	30,123,897	△ 6,044,263
芽室消防署費	30,748,000	26,852,954	87.3	0	3,895,046	29,213,044	△ 2,360,090
中札内消防署費	14,604,000	12,906,444	88.4	0	1,697,556	12,603,779	302,665
更別消防署費	11,366,000	9,899,943	87.1	0	1,466,057	10,199,058	△ 299,115
大樹消防署費	16,608,000	14,624,817	88.1	0	1,983,183	13,736,882	887,935
広尾消防署費	21,196,000	19,480,556	91.9	279,610	1,435,834	18,973,834	506,722
幕別消防署費	33,123,000	31,533,717	95.2	0	1,589,283	29,859,778	1,673,939
池田消防署費	17,116,000	14,681,121	85.8	0	2,434,879	18,760,928	△ 4,079,807
豊頃消防署費	17,358,000	14,199,203	81.8	0	3,158,797	12,770,983	1,428,220
本別消防署費	16,149,000	14,460,023	89.5	0	1,688,977	12,141,701	2,318,322
足寄消防署費	22,467,000	17,440,004	77.6	0	5,026,996	17,338,802	101,202
陸別消防署費	18,589,000	16,804,115	90.4	0	1,784,885	13,731,780	3,072,335
浦幌消防署費	14,580,000	12,556,604	86.1	0	2,023,396	14,691,329	△ 2,134,725
合 計	619,283,856	566,372,361	91.5	4,468,410	48,443,085	567,841,906	△ 1,469,545

エ 消防施設費の決算状況

決算額は、562,096千円で、前年度と比較して81,814千円、17.0%増加した。

予算執行の主な内容は、指令センター消防施設費 516,547千円、大樹消防施設費 17,270千円及び帯広消防施設費 7,786千円である。

また、予算現額に対する執行率は77.2%で、3,443千円の不用額が生じた。

第7表 消防施設費の決算状況（目別）

（単位：円・%）

科 目	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A ×100	翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 増△減 B-D
指令センター 消防施設費	516,548,000	516,547,399	100.0	0	601	-	516,547,399
帯広消防施設費	107,224,000	7,785,645	7.3	99,082,000	356,355	8,728,192	△ 942,547
音更消防施設費	1,625,000	1,506,877	92.7	0	118,123	1,504,114	2,763
士幌消防施設費	5,414,000	4,081,330	75.4	0	1,332,670	141,169	3,940,161
上士幌消防施設費	30,000	9,724	32.4	0	20,276	1,097	8,627
鹿追消防施設費	74,000	68,414	92.5	0	5,586	42,255,725	△ 42,187,311
新得消防施設費	734,000	31,900	4.3	0	702,100	7,251,531	△ 7,219,631
清水消防施設費	313,000	178,274	57.0	0	134,726	78,363,558	△ 78,185,284
芽室消防施設費	3,553,000	3,410,000	96.0	0	143,000	91,382,810	△ 87,972,810
中札内消防施設費	5,669,000	5,666,140	99.9	0	2,860	206,078	5,460,062
更別消防施設費	124,000	61,093	49.3	0	62,907	836,003	△ 774,910
大樹消防施設費	17,408,000	17,270,000	99.2	0	138,000	63,789,000	△ 46,519,000
広尾消防施設費	63,474,000	16,500	0.0	63,140,000	317,500	121,136,400	△ 121,119,900
幕別消防施設費	186,000	182,578	98.2	0	3,422	36,446,927	△ 36,264,349
池田消防施設費	1,923,000	1,880,826	97.8	0	42,174	11,498,708	△ 9,617,882
豊頃消防施設費	138,000	88,000	63.8	0	50,000	0	88,000
本別消防施設費	3,241,000	3,240,243	100.0	0	757	6,525,167	△ 3,284,924
陸別消防施設費	83,000	70,884	85.4	0	12,116	81,288	△ 10,404
浦幌消防施設費	-	-	-	-	-	10,134,300	△ 10,134,300
合 計	727,761,000	562,095,827	77.2	162,222,000	3,443,173	480,282,067	81,813,760

〈主な整備内容〉

指令センター 消防施設費	高機能消防指令システム・消防救急デジタル無線機器更新
士幌消防施設費	半自動体外式除細動器購入
芽室消防施設費	消防庁舎電話交換システム更新
大樹消防施設費	現場指揮広報車更新
池田消防施設費	オーバースライディングドア修繕

(2) 前年度対比増減の状況

ア 歳入

歳入の決算額は 7,217,249 千円で、前年度と比較して 482,047 千円、7.2%増加した。

これは主として、消防車両等購入費の翌年度繰越に伴い組合債が 269,300 千円減少した一方で、指令センター消防施設費及び職員費の増などに伴い分担金及び負担金が 742,243 千円増加したことによるものである。

第 8 表 歳入科目別前年度対比増減の状況

(単位:円・%)

科目	年度	令和4年度 A	令和3年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
分担金及び負担金		6,814,988,000	6,072,745,000	742,243,000	12.2
使用料及び手数料		5,216,600	6,624,100	△ 1,407,500	△ 21.2
繰越金		371,270,710	350,426,174	20,844,536	5.9
諸収入		25,773,266	21,288,434	4,484,832	21.1
組合債		0	269,300,000	△ 269,300,000	皆減
国庫支出金		-	14,818,000	△ 14,818,000	皆減
合計		7,217,248,576	6,735,201,708	482,046,868	7.2

イ 歳出

歳出の決算額は 6,782,428 千円で、前年度と比較して 418,497 千円、6.6%増加した。

これは主として、退職手当組合普通負担金の増により職員費が 252,009 千円、組合債償還元金の増により公債費が 83,768 千円及び指令センターの機器更新に伴う委託料の増などにより消防施設費が 81,814 千円増加したことによるものである。

第 9 表 歳出科目別前年度対比増減の状況

(単位:円・%)

科目	年度	令和4年度 A	令和3年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
議会費		933,783	921,335	12,448	1.4
総務費		19,161,970	16,798,474	2,363,496	14.1
消防費		566,372,361	567,841,906	△ 1,469,545	△ 0.3
消防施設費		562,095,827	480,282,067	81,813,760	17.0
公債費		149,800,839	66,032,706	83,768,133	126.9
職員費		5,484,063,025	5,232,054,510	252,008,515	4.8
合計		6,782,427,805	6,363,930,998	418,496,807	6.6

(3) 性質別歳出の状況

歳出決算状況について、これを性質別にみると、義務的経費は 4,138,229 千円で、前年度と比較して 331,676 千円、8.7%増加し、決算額に占める比率は、前年度より 1.2 ポイント上昇し 61.0%となった。

これは主として、人件費と公債費の増により義務的経費が増加したことから、決算額に占める義務的経費の割合が上昇したものである。

義務的経費以外の前年度対比では、物件費が 3,580 千円、0.7%減少した一方で、投資的経費が 79,219 千円、16.8%、維持補修費が 8,103 千円、72.3%増加した。

第 10 表 性質別歳出前年度対比増減の状況

(単位:円・%)

区 分	令 和 4 年 度		令 和 3 年 度		対前年度増△減	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	率
義務的経費	4,138,228,629	61.0	3,806,553,089	59.8	331,675,540	8.7
人 件 費	3,931,867,790	58.0	3,685,625,383	57.9	246,242,407	6.7
扶 助 費	56,560,000	0.8	54,895,000	0.9	1,665,000	3.0
公 債 費	149,800,839	2.2	66,032,706	1.0	83,768,133	126.9
物 件 費	534,650,510	7.9	538,230,463	8.5	△ 3,579,953	△ 0.7
維持補修費	19,312,495	0.3	11,209,278	0.2	8,103,217	72.3
補助費等	1,538,445,902	22.7	1,535,367,082	24.1	3,078,820	0.2
投資的経費	551,790,269	8.1	472,571,086	7.4	79,219,183	16.8
合 計	6,782,427,805	100.0	6,363,930,998	100.0	418,496,807	6.6

(4) 分担金の状況

構成市町村からの分担金は、共通経費が 1,233,208 千円、各消防署の個別経費が 5,581,780 千円で、合わせて 6,814,988 千円となり、前年度と比較して 742,243 千円、12.2%増加した。

これは主として、共通経費の指令センター消防施設費が 516,548 千円増加したことによるものである。

第 11 表 分担金前年度対比増減の状況

(単位:円・%)

科目	年度	令和4年度 A	令和3年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
消防分担金		6,814,988,000	6,072,745,000	742,243,000	12.2
共通経費		1,233,208,000	722,949,000	510,259,000	70.6
個別経費		5,581,780,000	5,349,796,000	231,984,000	4.3

※令和4年度における共通経費の主なものは、事務局及び消防局の職員費並びに指令センター消防施設費であり、個別経費の主なものは、消防署の職員費、各消防署が執行する消防費及び公債費である。

3 債務負担行為及び組合債の状況

(1) 債務負担行為債務残高の状況

年度末残高は 53,868 千円で、前年度末と比較して 26,518 千円、33.0%減少した。

第 12 表 債務負担行為債務残高の状況

(単位:円)

区分	年度	令和3年度末 残高 A	令和4年度増△減額		令和4年度末 残高 B	対前年度 増△減 B - A
			新規及び 変更	解 消		
北海道市町村備荒資金組合防災 資機材の譲渡代金(本別消防署)		3,240,243	0	3,240,243	0	△ 3,240,243
北海道市町村備荒資金組合防災 資機材の譲渡代金(帯広消防署)		15,014,744	0	7,511,121	7,503,623	△ 7,511,121
LED照明賃貸借事業 (土幌消防署)		449,064	0	199,584	249,480	△ 199,584
北海道市町村備荒資金組合防災 資機材の譲渡代金(池田消防署)		945,180	0	472,826	472,354	△ 472,826
清掃業務委託(幕別消防署)		2,851,200	0	950,400	1,900,800	△ 950,400
北海道市町村備荒資金組合防災 資機材の譲渡代金(音更消防署)		2,495,114	0	1,248,180	1,246,934	△ 1,248,180
清掃業務委託(音更消防署)		16,280,000	0	4,070,000	12,210,000	△ 4,070,000
北海道市町村備荒資金組合防災 資機材の譲渡代金(中札内消防署)		22,244,633	0	5,571,506	16,673,127	△ 5,571,506
清掃業務委託(帯広消防署)		16,865,992	0	3,253,928	13,612,064	△ 3,253,928
合 計		80,386,170	0	26,517,788	53,868,382	△ 26,517,788

## (2) 組合債残高の状況

年度末現在高は1,398,604千円で、前年度末と比較して146,370千円、9.5%減少した。

第13表 組合債残高の状況

(単位:円)

区分	年度 令和3年度末 現在高 A	令和4年度増△減額			令和4年度末 現在高 D=A+B-C	対前年度 増△減 D-A
		借入額 B	償還額 C			
			元金	利子		
帯広消防署	974,896,000	0	75,838,643	2,770,671	899,057,357	△75,838,643
音更消防署	117,142,000	0	29,348,000	2,650	87,794,000	△29,348,000
清水消防署	60,460,000	0	2,166,000	100,099	58,294,000	△2,166,000
芽室消防署	176,000,000	0	5,760,000	262,597	170,240,000	△5,760,000
大樹消防署	61,600,000	0	2,900,000	94,636	58,700,000	△2,900,000
広尾消防署	129,580,000	0	24,094,623	46,062	105,485,377	△24,094,623
本別消防署	25,296,076	0	6,262,595	154,263	19,033,481	△6,262,595
合計	1,544,974,076	0	146,369,861	3,430,978	1,398,604,215	△146,369,861

#### 4 財産の状況

##### (1) 公有財産の状況

###### ア 土地及び建物

決算年度中の増減はなかった。

###### イ 工作物

決算年度中の増減はなかった。

##### (2) 物品の状況

消防車両の更新や救助用資機材等の購入による増加、基準額の見直しによる減少により、年度末現在高は94台となった。

第14表 財産に関する調書の状況

区分	種類	単位	令和3年度末 現在高	令和4年度中増△減高			令和4年度末 現在高
				増加	減少	増△減	
公有財産	土地	m <sup>2</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	建物	m <sup>2</sup>	1,158.94	0.00	0.00	0.00	1,158.94
	工作物	円	1,983,966,450	0	0	0	1,983,966,450
物品	台		133	7	46	△39	94

#### 5 意見

令和4年度決算につきましては、前年度と同様、形式収支及び実質収支ともに黒字となりました。

事業運営につきましては、消防車両の整備、庁舎の改修及び消防用機械器具の整備のほか、平成28年度の消防広域化時に運用を開始した、高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線機器の更新を行うなど、通信指令業務の安定稼働の維持と的確かつ迅速な災害・救助対応の強化に取り組まれました。

今後とも、将来にわたり住民の安全・安心な暮らしを支えていくため、関係団体との連携を図りながら「十勝圏広域消防運営計画」を着実に推進され、十勝圏域における消防行政の円滑な運営に努められることを期待します。

# 参 考 资 料

# 1 分担金分賦状況調

(単位:円)

市町村	区分	共通経費	個別経費	各市町村 分担金合計
帯 広 市		469,932,000	1,576,381,000	2,046,313,000
音 更 町		112,613,000	482,386,000	594,999,000
士 幌 町		32,101,000	154,616,000	186,717,000
上 士 幌 町		32,892,000	163,520,000	196,412,000
鹿 追 町		31,384,000	161,291,000	192,675,000
新 得 町		37,070,000	171,812,000	208,882,000
清 水 町		45,946,000	250,154,000	296,100,000
芽 室 町		60,843,000	325,866,000	386,709,000
中 札 内 村		28,471,000	139,834,000	168,305,000
更 別 村		27,022,000	135,883,000	162,905,000
大 樹 町		32,812,000	193,563,000	226,375,000
広 尾 町		37,457,000	302,755,000	340,212,000
幕 別 町		87,358,000	498,853,000	586,211,000
池 田 町		35,845,000	176,590,000	212,435,000
豊 頃 町		29,946,000	145,131,000	175,077,000
本 別 町		34,411,000	205,616,000	240,027,000
足 寄 町		35,336,000	197,174,000	232,510,000
陸 別 町		25,196,000	144,509,000	169,705,000
浦 幌 町		36,573,000	155,846,000	192,419,000
合 計		1,233,208,000	5,581,780,000	6,814,988,000

(注1) 共通経費の主なものは、事務局及び消防局の職員費並びに指令センター消防施設費である。

(注2) 個別経費の主なものは、消防署の職員費及び各消防署が執行する消防費、公債費である。

## 2 火災等出動件数・救急出動・消防指令の状況

(単位:件・人)

市町村(消防署)	区分	火災等 出動件数	救急出動・搬送状況		消防指令件数 (発生市町村)
			出動件数	搬送人数	
帯 広 市		455	9,010	7,290	9,786
音 更 町		58	1,791	1,608	1,934
士 幌 町		25	272	260	295
上 士 幌 町		20	280	260	300
鹿 追 町		15	238	224	235
新 得 町		25	226	213	245
清 水 町		47	370	352	469
芽 室 町		44	839	754	855
中 札 内 村		19	185	170	189
更 別 村		7	141	134	153
大 樹 町		18	267	248	310
広 尾 町		25	355	331	393
幕 別 町		57	1,438	1,312	1,422
池 田 町		13	401	384	427
豊 頃 町		12	151	134	174
本 別 町		15	424	403	433
足 寄 町		28	404	377	446
陸 別 町		17	122	108	135
浦 幌 町		22	170	143	217
管 外 出 動		-	-	-	2
合 計		922	17,084	14,705	18,420

(注1)火災等出動件数、救急出動・搬送件数は、「令和4年版 消防年報」の数値によるため、令和4年1月1日から令和4年12月31日の数値である。

(注2)消防指令件数のうち、市町村の区域を超えた指令件数は、1,094件である。